

## 第 312 回 IEC 研究会議事録

日時：2016 年 12 月 4 日（日）13:30-16:30

場所：大阪大学豊中キャンパス 文法経本館 1F セミナーB 室

司会：石川

書記：西本

出席：石川，江見，広田，梶木，田中，矢島，高橋，西本，安谷，石井

欠席（届出あり）：中西，中村（州），河野

内容：

### 1. 会務（諸会連絡・報告・情報回覧等）

12 月 25 日（日）日本情報科教育学会 第 9 回フォーラム 日本大学文理学部 百周年記念会館 <http://jaeis.org/> →申し込み方法等，学会ホームページを参照

### 2. 研究報告（自由枠 2 件）

「将棋入門者のための評価値の部分表示と思考 engine 弱体化」（石川先生，大阪国際大学）  
将棋とコンピュータは親和性が高いが入門者向けの環境が整備されていない

入門者の心をくじかないようにうまく手加減してあげつつ上達にもつながる将棋らしい対局ができるようなシステムは，現状では満足できるようなものはないようである

入門者向けの総合評価値の必要性

（報告に関連したディスカッションの中で出てきた情報）

日経ソフトウェア 2016 年 12 月号 吉岡直人の `syntax error` 教育への「過剰な期待」と「欲張り」

→プログラミングをすれば“論理性”が伸ばせるのか？という問いかけの中で，将棋を学習しても将棋に限局した能力が伸びるだけなのではという話が出てくるという

「国際化・多言語化に取り組む LMS の利用」（江見先生，京都情報大学院大学）

※2014 年に e ラーニングアワードフォーラムで発表された内容 +  $\alpha$

国際化・多言語化の準備段階として，建物表記ニカ国語表記，修了証をニカ国語表記，科目名の英語名の制定，学生便覧等々（現在は日英，中国語はまだ）

授業資料のデジタル化が必要 PPT, PDF, 映像→アナログよりはニカ国語化はまだやりやすい

KCG&京都情報大学院大学 KING-LMS KING 学習管理システム（dotCampus という製品名で販売，他大学でも採用）<http://dotcampus.jp/>

システム上は英語モードに対応しているが，一部項目が日本語のみ，固有名詞（科目名）な

どは入力時に日英両方入れる必要性，担当教員が個別に入力する内容まではコントロールできない→完全日英対応のむずかしさ

授業コンテンツ英語化の問題点 授業内容の3分類

元々アメリカの技術を取り入れたもの→一番英語化しやすい

具体的事例は日本向けにカスタマイズされたもの（例：データベース）→英語化しづらい

日本から発信しているもの→英語化する意義はあるのか？内容による

第三の波から第四の波ハイコンセプトの時代へ コンセプトチュアル社会

3つのAの危機 アジア Asia, オートメーション Automation, 豊かさ Abundance

kcg1年次から毎学年「プロジェクト演習」（大学院ではリーダーシップセオリー，キャリア強化）を配置

プロジェクト経験量×知識量 二次元の右肩上がり発展モデル

### 3. その他

2017年2月以降の会場（未定）について，田中先生から今回（2016年12月）と同様に大阪豊中キャンパスでの会場提供の提案あり

来年2017年の6月～7月に有馬温泉にてフォーラム開催予定。

テーマは新学習指導要領で

「小学校におけるプログラミング教育」

「センター試験に代わる大学入試の情報」

について等